

# 介護・認知症分科会報告

長岡 仁美 神奈川・中学校

昨年の大会で初設定の「介護・認知症分科会」。堀江晴美さんの大々的なコマーシャルで参加者が70名を超え、関心の高さを感じました。今年は10+α人。「宣伝すれば、もっと多くの人が聞けたのに、もったいない！！」とは参加者の声、声、声、…。だが、しかし、少人数ならではのよさがある！ 資料発表の後、質問の時間や体験談など話す機会をゆったりと持つことができました。

それでは、「少人数ではもったいなかった」発表を紹介します。

## ☆ 堀江晴美「仮説実験授業に学ぶ、私の認知症研究」（16ペ）

### 3 世界の潮流は「認知症は治る」に舵をきった

「未来はない」から「未来はある」へ

### 4 最新の脳研究から「脳内ネットワーク」に注目せよ

### 5 ——驚きの新学説——

いくつになっても「海馬」の体積(神経細胞)は増える

## ☆ 堀江晴美「メモ・認知症研究のために」（8ペ）

### 最新脳科学で今わかったこと

脳を見ることができるようになって脳科学は飛躍的に発展した

「介護は続くよ、どこまでも…」 「えっ、どこまでも？」 先の見えない状況に不安を感じ、時には悲惨な事件が起きてしまう。今、認知症や介護が切実な問題になっています。

しかし、堀江さんは明るい！！ 仮説・実験的に認知症を研究し実践している。本当に「人生すべてに仮説・実験がある！！」と思いました。研究成果から。

認知症は病気→病気には薬…5年で使えるようになる

→予防できる…知的好奇心、楽しい・嬉しいが脳を元気に

